

「非結核性抗酸菌バイオエアロゾルの短・長距離拡散と同感染症の関連解析」の研究のお知らせ

当院では「非結核性抗酸菌バイオエアロゾルの短・長距離拡散と同感染症の関連解析」との調査研究を行っています。肺非結核性抗酸菌症は世界的にその増加が問題となっている肺感染症です。非結核性抗酸菌は土壌、水中など自然界に広く住み着いている菌であり、空気を介して感染すると考えられていますがそのしくみについてはよくわかっていません。この研究では、エアーサンプラーという空気中の粒子や菌を採取する機械を設置して調査を行います。大気中に存在する可能性のある非結核性抗酸菌や微小粒子状物質 (PM_{2.5}) を採取する予定です。全国 5 ヶ所において採取を行い、それぞれの地域における非結核性抗酸菌の種類の差異、PM_{2.5} の性状の分析を行い、肺での感染に与える影響について解析を行う予定です。本研究の結果により、難治性である肺非結核性抗酸菌症の感染メカニズムの解明が可能となり、感染防御対策の確立につながり肺非結核性抗酸菌症を減少させるために有用である可能性があります。

【調査方法】

当院の屋上にエアーサンプラーを設置して大気中の検体の採取を行います。季節ごとに数日ずつ行う予定で、2020年秋から2023年夏まで施行予定です。

【患者さまのプライバシーに関して】

本研究では大気中のサンプリングを行うだけですので、患者さまに関わる情報を用いることはまったくありません。

ご不明な点がございましたら、以下に示す本調査の研究代表者までお問い合わせください。

〒591-8555 大阪府堺市北区長曾根町 1180
国立病院機構近畿中央呼吸器センター
臨床研究センター 感染症研究部
露口一成
TEL: 072-252-3021, FAX: 072-251-1372

なおこの調査は病院外の専門家の方を含んだ臨床試験審査委員会 (IRB) における厳重な審査・承認をうけて実施しています。